

## 令和7年第11回花巻市教育委員会議定例会 議事録

### 1. 開催日時

令和7年10月21日（火）午前10時00分～午前10時25分

### 2. 開催場所

石鳥谷総合支所 大会議室

### 3. 出席者（5名）

教育長 佐藤 勝

委員 中村 弘樹

委員 役重 眞喜子

委員 衣更着 潤

委員 熊谷 勇夫

### 4. 欠席者（1名）

委員 中村 祐美子

### 5. 説明のため出席した職員

教育部長 瀬川 幾子

生涯学習部長 菅野 圭

教育企画課長 及川 盛敬

学務管理課長 小原 聡直

学校教育課長 菅野 弘

就学前教育課長 鈴森 早織

文化財課長 上野 剛

新花巻図書館計画室長 梅原 奈美

### 6. 書記

教育企画課長補佐 菊池 豊

教育企画課 総務企画係長 佐藤 伸昭

教育企画課 総務企画係主査 谷藤 聖裕

教育企画課 総務企画係行政事務職員 沼田 弘二

### 7. 議事録

○佐藤教育長

只今から、令和7年第11回花巻市教育委員会議定例会を開会いたします。

会議の日時、令和7年10月21日、午前10時。

会議の場所、石鳥谷総合支所、大会議室。

日程第1、会期の決定であります。本日一日とすることにご異議ありませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長

異議なしと認め、本日一日と決定いたします。

日程第2、議事に入ります。

議案第33号「花巻市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令」を議題といたします。

事務局から提案内容の説明をお願いいたします。小原学務管理課長。

○小原学務管理課長

議案第33号「花巻市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令」について、ご説明申し上げます。

本訓令は、地方公務員の育児休業等に関する法律にあっては令和7年1月8日に、人事院規則にあっては令和7年4月25日に、それぞれの一部が改正されたことを受け、岩手県の職員の育児休業等に関する条例にあっては令和7年7月14日に、岩手県の職員育児休業等に関する規則にあっては令和7年8月29日に、それぞれの一部が改正され、これを受け令和7年9月24日に、岩手県教育委員会服務規程の一部が改正されたことに伴い、花巻市立学校職員の服務規程の一部を改正しようとするものであります。

改正の内容についてご説明いたします。

お手元に配付しております、議案第33号資料も併せてご覧くださるようお願いいたします。

第16条は、育児に係る職員の部分休業について定めるものでありますが、小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、一日の勤務時間の全部、または一部について勤務しないことができる部分休業を、育児時間簿の記載による部分休業の申出及び申出内容の変更の手続きを定めるとともに、部分休業の請求方法について定めるもののほか、その他の規定は、条項の移動及び引用条項の整理を行うものであります。

最後に、施行期日であります。本規定は、令和7年10月21日から施行しようとするものであります。

以上で説明を終わりますが、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○佐藤教育長

只今、事務局から説明がありました。

簡単に言うと何がどう変わったのか、そこを補足していただければと思います。

○小原学務管理課長

部分休業の改正の概要でございますが、職員の育児休業等に関する条例等が改正され、請求できる部分休業のところですが、第 1 号部分休業、または第 2 号部分休業というのが選択可能になったというのが改定のポイントとなっております。

部分休業の種類でございますが、これまでは 30 分を単位とし、一日につき 2 時間を超えない範囲内で取得することができたものが、こちらが第 1 号部分休業となりまして、30 分を単位として一日につき 2 時間を超えない範囲内で取得できるもの、それから、第 2 号部分休業としまして、1 年度につき 1 時間を単位として、非常勤職員以外の職員であれば 77 時間 30 分、約 10 日間を取得することができると改正されたものでございます。

○佐藤教育長

ありがとうございます。

只今、事務局から説明がありました。この件について、質疑ございませんでしょうか。

役重委員。

○役重委員

ご説明ありがとうございます。

それぞれの子育ての状況で選べる形になるという改正だと理解をしました。一日 2 時間という単位なのか、一年の中で長期的に取れるのかということですが、この選択できるという改正については、岩手県だけではなくて全国的な改正であると理解してよろしいでしょうか。

それから、今現状で、この部分休業の取得の状況についてもお知らせいただければと思います。

○佐藤教育長

2 点についてお願いします。小原学務管理課長。

○小原学務管理課長

お答えいたします。まず、1 点目でございますが、全国的なものというところ、そのとおりでございます。このことを受け県の方で改定となり、市でも一部改正するという流れでございます。

2 点目でございますが、本市において部分休業を取得している先生方は、今年度はゼロとなっております。

○佐藤教育長

よろしいでしょうか。役重委員。

○役重委員

取得ゼロというのは、育児休業を取得できる立場にあるが、母数がそもそも少ないということなのか、あるいは、部分ではなくて 3 年丸々ということで充足していると考えた方がいいのか、若しくは取りづらい状況がもしかしてあるのではないかということについて、もし考

察されていることがあれば教えてください。

○佐藤教育長

小原学務管理課長。

○小原学務管理課長

今年度、育児休業を取得している先生方は現時点で 11 名おりますが、部分休業というところに関しては、1 名もいない状況でございます。ただ、昨年度から育児短時間勤務ということで、時間を指定して勤務している先生は 1 名おりますので、そういった部分につきましては、今後も周知を図っていく必要があろうかと考えております。

○佐藤教育長

他に、ございませんでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長

それでは、質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。議案第 33 号「花巻市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令」を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長

異議なしと認め、議案第 33 号は原案のとおり議決されました。

日程第 3、報告事項に入ります。

はじめに、「新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザルの第一次審査終了について」を、事務局から報告をお願いいたします。

梅原新花巻図書館計画室長。

○梅原新花巻図書館計画室長

新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザルの第一次審査が 9 月 26 日に終了いたしましたので、事前配付資料に基づきご報告いたします。

まず、公募プロポーザル審査についてですが、審査は、建築設計や都市計画、図書館学などの分野で実績をもつ 5 名の専門家と副市長で構成するプロポーザル選定委員会で行いました。この選定委員会は、5 名の専門家、建築設計の乾久美子横浜国立大学大学院教授、図書館理念・実装の吉成信夫元みんなの森ぎふメディアコスモス総合プロデューサー等、建築計画・都市計画の小野田泰明東北大学大学院教授、建築設計・環境建築の竹内昌義東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科教授、図書館学の早川光彦富士大学経済学部教授となっておりまして、委員長は乾氏、副委員長は吉成氏であります。また、小野田氏

は日本建築学会の会長でございます。

第一次審査は、技術提案書提案者の能力や配置予定技術者の能力などをはかる定量的評価と、計画に関する考え方や提案内容の独創性や実現力、地域特性への理解等による定性的評価の両面から審査を行い、第二次審査に進む参加者を5者程度選定することにしておりまして、第二次審査は、第一次審査の評点は持ち越さず、第二次審査提案書、プレゼンテーション内容、質疑応答での受け答えなどを総合的に評価して審査することとしております。

次に、第一次審査の結果についてでございますけれども、本プロポーザルには、全国から61者の応募がございまして、第一次審査では各応募者から提出された書類について選定委員会が書面審査を実施いたしました。こちらは令和7年9月26日、東京都内で行いまして、応募者の技術提案書、提案者の能力、そして、配置予定技術者の能力など、先ほどご説明しました定量的評価と定性的評価により総合的に審査いたしました。

審査の結果、5者程度の選定ということでしたが、5番目と6番目は甲乙つけがたい内容であると判断されたことから、6者を第二次審査の対象といたしました。

なお、第一次審査の結果については、9月30日に全応募者である61者に対して、それぞれの審査結果について通知するとともに、第二次審査の対象となった6者に対しては、講評と第二次審査の参加の案内を通知しました。

次に、第二次審査の概要でございます。第二次審査の対象者6者には、本業務を担当する管理技術者と主任担当技術者の業務実績、本業務の実施体制、第二次審査用提案書を11月19日までに提出いただくようお願いしており、11月24日、この日は振替休日でございますが、花巻市文化会館大ホールにおいて、第二次審査用提案書に基づきプレゼンテーションをしていただき、その上で選定委員との質疑応答を行うこととしております。このプレゼンテーションと質疑応答については、一般公開で行うこととしております。先ほどもご説明したとおり、この第二次審査の公開プレゼンテーションでは、第一次審査の評点は持ち越さず、第二次審査のプレゼンテーション内容、質疑応答での受け答えなどを総合的に評価して審査いたします。

この審査については、プレゼンテーション終了後に選定委員による協議を非公開で行いまして、最優秀者と次点者を特定します。結果は、12月3日に通知することとしております。

第二次審査、公開プレゼンテーションの時間等の詳細については、後日、市のホームページでお知らせするほか、広報はなまきでもお知らせする予定としております。

公開で行いますので、ぜひ委員の皆様にも足を運んでいただければと思っております。よろしく願いいたします。

○佐藤教育長

プロポーザルについて、只今の報告について、質疑のある方ございませんか。

衣更着委員。

○衣更着委員

一次審査の評価ですが、定量的評価と定性的評価とよくわかりにくいのですが、これは優劣では駄目なのでしょうか。やはりこれを使う観点、どう違うのか、適正と優劣をこういう表現にしたのか、どういう観点でこの2種類の評価に分かれているのか、わからないのでお願いします。

○佐藤教育長

定量と定性のところを、もう少し補足をお願いします。

○梅原新花巻図書館計画室長

技術提案書提出者の同業種の実績や、資格及び業務経験などの能力を、提出された書類をもとに点数をつけて評価します。また、定性的評価は、課題に対する提案力と実現力を評価するもので、提案に際してのコンセプトや考え方をA3版1枚で提出いただいたもの、例えば、新図書館の配列はこうするなどスケッチのようなものも提出いただいておりますが、それらを総合的に評価しています。

○衣更着委員

一般的な見地からというニュアンスでいいのでしょうか。個人的に決めるのではなくて、チェックの項目が何項目にもあって、A・B・Cで評価をつけるとか、どちらに関してもそういう感じですね。

○佐藤教育長

梅原新花巻図書館計画室長。

○梅原新花巻図書館計画室長

プロポーザルにあたって、技術提案書等評価要領を定めておりまして、要領に定量的評価と定性的評価の評点表がございます。それに照らし合わせて計算し評価しております。

○佐藤教育長

事前に委員さんたちのところで、評価基準というのをしっかり定めておいて、その上でいろんな項目があって、大別すると実績や資格みたいな定量的なものと、それから、提案内容、中身に関わる提案力も含めた定性ということのご理解でいいかと思います。

他にございませんか。

熊谷委員。

○熊谷委員

今後の二次審査についてお伺いします。最終的に、最優秀者と次点者を指定するということになっていますが、指定された業者はどちらにお願いするか、その辺の今後、見込みはどうかをお伺いします。

○佐藤教育長

梅原新花巻図書館計画室長。

○梅原新花巻図書館計画室長

最優秀者にお願いしたいと思いますが、契約に関しては諸々審査等もございますので、次点者も決めるところでございます。

○熊谷委員

要するに、最優秀者をお願いするということですね。

○梅原新花巻図書館計画室長

そうです。

○熊谷委員

何か最優秀者で事情があつてということになれば、次点者をお願いするということですね。わかりました。

○佐藤教育長

他にございませんでしょうか。

最終的に、この公開プレゼンテーションというので市民の方にお伝えするのは、広報ということですか、いつはっきりするのですか。

○梅原新花巻図書館計画室長

今、第二次審査の実施要領等を作成しているところで、選定委員の方々の確認を経て、市のホームページで公表したいと思います。また、広報については 11 月 15 日号でお知らせする予定としております。

○佐藤教育長

わかりました。公開プレゼンテーションになるということです。

他に、質問ございませんでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長

それでは、質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

(はい)

○佐藤教育長

なしと認め、只今の報告に対する質疑を終結します。

次の報告、教育委員会関連行事につきましては、お手元に配付いたしました日程表によりまして、報告に代えさせていただきます。

以上で、本日の議事日程はすべて終了いたしました。

本日の教育委員会議、これをもって閉会といたします。ありがとうございました。